

## ♦ 横浜型地域貢献企業 過去最多の42社を新たに認定

横浜型地域貢献企業認定証授与式が3月25日に横浜市長公舎で開催されました。今回、新たに42社が認定され、計214社となりました。24年度の新規認定数は66社で、例年の倍近くに達し、経営戦略としてCSR(企業の社会的責任)活動に取組む企業が増加しています。

本制度は、平成19年度に創設され、①本業において地域を意識した経営を行っている②本業以外において地域貢献の視点をもった社会的活動に取り組んでいる等、CSR活動に取り組む企業を対象としています。

今回、認定された企業の取組としては、「出産や介護等の事情により男女を問わず、継続した就業が困難な場合に備え、育児休業や

介護休業等の規程を法律以上の内容に拡充し、『ワークライフバランス』を積極的に推進している(アローズ・システムズ)」、「ひきこもりの若者に対して、経営するレストラン等で、それぞれの状況に合ったジョブトレーニングを実施し、『ひきこもりの若者の就労支援』を積極的に行っている(メルヘン)」等があげられます。

IDECKでは、認定を検討している企業に対し、無料の窓口相談のほか、中小企業診断士等の専門家を継続的に企業に派遣し、認定に向けた準備や経営課題などについてアドバイスする支援(有料)も用意しています。

自社の経営戦略に合致したCSR活動の実践は、従業員はじめ、取引先や地域等、多様な関



▲平成24年度第2回横浜地域貢献企業「認定証授与式」

係者からの信頼の獲得につながり、明日の経営基盤を確立する有効な方法です。本制度を企業の経営戦略のひとつとして、ぜひ活用ください。

詳細は、IDECKホームページ <http://www.idec.or.jp/keiei/csr/> [問] 経営支援課045-225-3714

## ♦ 台湾インターンシップ生を市内中小企業が今年も採用 ～今年度の受け入れ企業を募集中～



▲横浜インターンシップ報告会

今年1月から2月にかけて台湾国際企業人材育成センター日本語学科のインターンシップ生21名を市内企業19社が受け入れ、3週間に渡る研修を実施しました。

受入企業からは、「研修に関わった社員の成長につながった」「社

員への良い刺激になった」など95%が「社内の活性化に役立った」と高い評価を受けました。日本語によるコミュニケーションについても75%が「日常会話だけでなく業務の遂行にあたってもほとんど問題がなかった」と答えており、研修生の語学力の高さがうかがえます。昨年は、市内企業3社が5名の研修生を社員として採用し、更に今年も1名が採用される予定です。

半導体商社のイノテック(横浜市港北区)は、昨年のインターンシップ生、黄灝儀さんを社員として採用しました。同社は台湾・中国での事業を積極的に展開していくため、今年4月、台北市

に駐在事務所を開設。黄さんは、本社の経営企画部に在籍しており、事務所開設について台湾現地の情報収集等にも活躍しました。また、中国語に興味がある社員を対象に、自発的に週1回の中国語教室を開催しており、黄さんと社員双方の語学力の向上に役立っています。同社では「社内に新しい文化を取り入れることができた」と評価し、黄さんの今後の活躍に大きな期待を寄せています。

台湾インターンシップ受入や外国人人材の採用に関心がある企業の方は、ぜひIDECK国際ビジネス支援部までお問い合わせください。

詳細は、IDECKホームページ <http://www.idec.or.jp/kaigai/> [問] 国際ビジネス支援部 045-225-3730

## ワンストップ経営相談窓口をご利用ください

創業や企業の経営課題の解決に向けて、IDECK職員・専門家がお手伝いをします!

TEL.(045)225-3711(財団本部) TEL.(045)778-9571(金沢拠点)

[www.idec.or.jp/keiei/](http://www.idec.or.jp/keiei/)

**■ Pick Up****やっぱりものづくり! ~ものづくりコーディネート事業報告~**

▲市内研究機関でのマッチング会

昨年からスタートした「横浜ものづくりコーディネート事業」の実績がまとめました。

この事業は、中小もののづくり企業の新製品開発や新分野進出を応援するため、大手企業の技術者や総合商社のOBなど、技術開発や

販路開拓について豊富な経験と実績を持った 26 名のコーディネーターが、企業の現場を直接訪問し、直面する課題や技術開発、販路開拓などについて、一歩踏み込んだ支援を行う事業です。

24 年度は、受発注をはじめ、企業間や大学との連携支援など、コーディネーターの派遣件数は 633 件となりました。また、現場訪問事業を実施し、100 社に対して横浜市や IDEC の支援策を紹介しました。

具体的なマッチングの事例としては、受発注では、金属加工業の

中小企業に材料の前処理ができる企業を紹介し、取引にいたったケース。企業間連携では、それぞれトヨタと日産の下請けを行っている 2 社の中小企業が、お互いの強みをいかして共同で受注できる体制を整え、事業拡大につながった事例などがあります。また、大学との連携では、植物工場の開発に関する植物の生育技術について市内大学との共同研究に着手することになったケースなどがあります。

ものづくりコーディネート事業について関心のある方は、ご連絡ください。

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/renkei/monozukuri/> [問] 技術支援課 045-225-3733

**ベトナムの中小企業向け小規模レンタル工場**

4 月 8 日から 13 日まで、「ベトナム ダナン・ホーチミン投資環境視察団」を派遣しました。

参加者は製造業、専門商社、IT、シンクタンク、大学研究者等からなる 13 名。ベトナムは、昨年度の IDEC の海外ビジネス相談でも中国、タイに続く関心が高い国です。しかも相談内容は工場進出など投資環境に関するものが多いことが特徴です。今回は中小企業向けの工業団地を中心に視察し、そのほか経済機関や日系進出企業、日本語学校などを訪問しました。

ダナンでは、ダナンハイテクパークの建設予定地等を視察。ハノイ、

ホーチミンに次いで計画された国内 3 番目、総面積約 1010 ヘクタールのハイテクパークです。

ホーチミンでは、市中心部から 15 km、車で約 40 分という交通至便な、絆 (Kizuna) 工業団地等を訪問しました。絆工業団地は、日系中小企業の誘致を意識したレンタル工業団地で、専用デスクや貸し会議室などはシェアードオフィスとして別棟に設計されており、日本語対応スタッフが常駐しているのも魅力のひとつです。

賃貸面積は 500 m<sup>2</sup>から 1500 m<sup>2</sup>と小規模な事業でも操業しやすい区画が用意されています。

IDEC では、海外進出を検討されている市内中小企業に対して、中国（上海）、タイ、ベトナムのレンタル工場等の最新情報を提供しています。海外の事業展開を検討中の企業の方は、お気軽にご相談ください。



▲ロンアン省にある絆工業団地（正面入口）

**横浜グローバルものづくり企業ガイド2013 ~横浜が世界に誇る本気企業122社**▲横浜グローバル  
ものづくり企業ガイド 2013

このたび、「横浜グローバルものづくり企業ガイド 2013 ~横浜が世界に誇る本気企業 122 社」を発行しました。

このガイドブックは、横浜を代表する中小企業の技術の強みや製品の特徴をコンパクトに紹介するために作成しました。ものづくりコーディネーターや横浜市、IDEC など関係者が、大手企業や大学とのマッチング、展示会、商談会などの場で活用します。

冊子の体裁は、A4 判、1 ページに 1 社を掲載し、得意分野・技術・主要事業・製品・設備・研究体制などをわかりやすく紹介しています。製品や設備の写真の構成を工夫し、クオリティの高い一枚もののカタログとしても転用でき

るよう編集デザイナーが腕をふるいました。

あらためてこのガイドを手に取ると、市内には要素技術を極めた優良企業をはじめ、オンラインの製品や技術力を持った企業、最近、めざましい成長を遂げている環境・エネルギー・医療・健康分野の企業など、数多くの中小企業が活躍していることを実感できます。

掲載企業のデータは、IDEC のホームページからもダウンロードできます。企業情報のデータベースとしてもご活用ください。

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/renkei/> [問] 技術支援課 045-225-3733

**■ Pick Up****ミャンマー、カンボジアで現地サポートデスクを開設**

▲ミャンマー・ヤンゴン中心部

4月24日、はじめて海外取引や海外展開を検討している中小企業を対象としたセミナー「明日から取り組んでみようアジアビジネス」

ス」を開催しました。

基調講演では、法政大学の増田辰弘氏が、数ある成功事例を分析し、「日本の常識にとらわれず現地のルールを柔軟に取り入れる」「現地パートナーは紹介に頼らず自分で会って決める」など、アジアビジネスのポイントを解説しました。また、中小企業が海外展開を始めるうえで課題となる、人員や資金面の不足については、公的機関の支援制度を活用するよう勧めがありました。

IDECは、市内企業の海外での

ビジネス視察や展示会出展などの現地活動を支援するため、アジアサポートデスクを設置しています。タイ、ベトナムに加え、4月からミャンマー、カンボジアでもサービスを開始しました。これらのデスクは、日系企業に業務委託しており、現地では日本人スタッフが対応しますので、安心してご利用いただけます。

8月には、ミャンマー、カンボジアのサポートデスク駐在員を迎える、最新ビジネス情報の報告会を開催します。ご期待ください。

詳細は、IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/kaigai/support/> [問] 国際ビジネス支援部 045-225-3730

**■ 新着情報****助成金・補助金情報をわかりやすく発信!**

研究開発や創業などに関する助成制度へのニーズが高まっています。

現在、国の各省庁をはじめ、都道府県、市町村等が実施している公募型助成金は全国で約3,000件といわれています。その種類は研究開発、雇用、地域活性化、創業等多岐にわたり、取扱窓口もそれぞれ異なっているため、利用者にとって情報収集が課題となっています。

そこでIDECでは、5月から国・神奈川県・横浜市等の助成金情報を種類ごとに一元的に整理し、ホームページに記載しています。また、新着情報や利用実績の高いものなど、取り組みやすい情報をメールマガジンでタイムリーに配信しています。以下のホームページをご覧ください。

詳細は、IDECホームページ  
<http://www.idec.or.jp/keiei/zyoseikin.php>  
[問] 経営支援課 045-225-3714

**事業継続計画(BCP)策定支援新たにスタート!**

東日本大震災以降、事業継続計画(BCP)の策定に関心が高まっています。昨年度、横浜市が実施した調査結果では、BCPを策定している市内中小企業は13.7%にとどまっています。多くの企業がBCPの必要性は感じてはいるが、何から着手したら良いのか分からずという現状です。

BCPは限られた経営資源で最低限の事業活動を再開・継続するために、企業の事業活動に応じて策定するものであり、取引先からの信頼を高め、従業員を守ることにもつながります。

そのため今年度から、災害に限らず、海外ビジネスでのリスク等も含め、各社の事情に合わせた個別のBCP策定に向け、セミナー開催や無料の専門アドバイザー派遣等を行います。ぜひ、各支援メニューをご活用ください。

詳細は、IDECホームページ  
<http://www.idec.or.jp/> [問] 経営支援課 045-225-3714

**■ Column 「IDEC上海事務所レポート」****日系中小企業のための都市型ファクトリーパーク**

上海市西南部に位置する金山工業区内で日本の中小企業向けに工業団地(上海日本中小企業産業園)の開発が進められています。

この工業団地は、上海市中心部から44キロ、主要駅の一つである上海南駅から電車で25分。また、虹桥空港から50キロ、浦東空港からも70キロという都市型ファクトリーパークです。

上海市内在住の人材獲得が容易であることから研究開発型企業の立地に適しており、また蘇州・杭州など長

江デルタの主要16都市へアクセスが約1時間で可能であることから物流面での優位性も備えています。

総面積は、2.2km<sup>2</sup>でIT、新素材、新エネルギー、バイオ、医薬、食品加工、機械設備などの産業別のエリアが設けられており、日系企業も大企業を中心に既に20社以上が進出しています。今後は優れた技術を保有する日本の中小企業の集積を図るために、小規模なレンタル標準工場が計画されています。

日本企業の誘致を促進するため、日

上海事務所副所長 川北 彰子

本語での問い合わせが可能なスタッフが常駐しています。詳細は、国際ビジネス支援部にお問い合わせください。



▲金山工業区内のサービスセンター

## ◆各種イベントを開催しています

| 2013.7~9 |

イベント名 / 会場	時期
テーマ別セミナー第4弾 「トラブル回避のための契約書の見方、つくりかた」 / 大会議室 中小企業が契約を結ぶときに陥りがちなトラブル事例を紹介し、その対処法を学びます。	7月11日(木) 18:30~20:30
テーマ別セミナー第5弾 「中小企業のブランド戦略セミナー」 / 大会議室 中小企業がブランドを作るメリット、ブランドの確立法などを学びます。	7月18日(木) 18:30~20:30
横浜環境ビジネスネットワーク 横浜スマートシティプロジェクト(YSCP) フォーラム / 横浜情報文化センター 市や国の仕組みを紹介し、YSCP 参加企業とのマッチング会を開催する予定です。	7月23日(火) 13:30~17:00
サポートデスク報告会・個別相談会 ミャンマー(8/7)、カンボジア(8/28) / 大会議室 サポートデスク駐在員による最新ビジネス情報を提供します。	8月7日(水) 8月28日(水) 13:30~17:00
2013年度下期の為替相場見通しとグローバル経済の現況 / 横浜情報文化センター 三井住友銀行との連携により最新情報をお届けします。	9月6日(金) 13:30~16:00

上記イベントはほんの一部です。詳しくはホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。 IDECA横浜  



### メルマガ登録者募集中!

事業などの情報をタイムリーにお知らせするため、各種メールマガジンを配信しています。どなたでも登録できます。IDECAホームページ <http://www.idec.or.jp/> 「財団からの情報」の「財団発行メールマガジン」をご覧ください。

#### ■ Information

### IDECA施設入居者募集

- 横浜新技術創造館(鶴見区:研究室・事務室)
- 横浜情報文化センター(中区:事務室)
- 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア(金沢区:研究室・事務室)
- 横浜市金沢産業振興センター(金沢区:事務室)

詳細はIDECAホームページ <http://www.idec.or.jp/> 「施設のご案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご覧ください。  
問 施設経営部 045-225-3710

### ワンストップ経営相談のご案内 –お気軽にご利用ください–

創業や経営、技術、国際ビジネスなど様々な課題について、IDECA職員や専門家が無料(一部のものを除く)でお答えします。

#### 窓口相談(直接、お越しください)

IDECA本部や金沢産業振興センターで企業の皆さまの様々な経営課題についてのご相談にお答えします。

#### 専門家相談(事前申込制・申込方法は以下参照)

弁護士、社会保険労務士など分野別に曜日を決めてお答えします。法律(火曜日)、労務(金曜日)、IT活用(木曜日)

#### 技術相談(事前申込制・申込方法は以下参照)

大手企業OBなどの専門家が中小企業の皆さまを訪問し、技術課題の解決をお手伝いします。

#### オンライン相談

IDECAまで来る時間がとれない方向けに、ネットでの相談も受け付けています。

#### 国際ビジネス相談(先着・事前申込制)

経験豊かな専門家が中国、タイ、ベトナムなどの対象地域や貿易取引など実務についてテーマごとの相談会を毎月開催します。スケジュールとお申し込みは、IDECAホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。

#### 経営コンサルティング

経営革新や新規事業展開などを目指す中小企業に専門家が継続的コンサルティングを実施します。

#### 申込方法

IDECAホームページ <http://www.idec.or.jp/> の「ニーズ別事業紹介」のメニューからご希望の事業を選び、各事業のページから相談事業を選んで申し込んでください。  
なお、はじめて利用する方は、新規ユーザー登録が必要です(一部のものを除く)。

### 編集後記

早いもので一年の折り返しを迎えます。IDECA ニュースレター第6号は、地域貢献企業の認定やものづくりコーディネート事業など、昨年度の主な事業の報告と、今年度から開始した公的機関の公募型助成金情報サービスや BCP 策定支援など新しい取り組みを特集しました。また、IDECA 初めての試みとして、中小製造業の皆さまの技術や製品をコンパクトにまとめた「横浜グローバルものづくりガイド 2013」の発行など盛りだくさんの内容でお届けします。これらの情報の詳細については、気軽にお問い合わせください。